

平成30年度

決算審査

すべて認定されました

平成30年度の一般会計、各特別会計、各企業会計の決算は、議員全員で構成する決算審査特別委員会の審査を経て、いずれも認定されました。

決算審査特別委員会での主な質疑を要約して掲載します。

一般会計

質問 移住支援により当市に移住した方の、移住の決め手は。

答弁 自然環境、住環境、子育て・教育環境がよいという声がありました。

質問 市議会議員選挙の投票率は。

答弁 平成30年は43・72%です。

質問 投票率向上対策は。

答弁 スーパー等での啓発活動等、継続的に有権者の意識向上を図っていきます。

質問 ふるさと納税の滞在型謝礼品の実績は。

答弁 当市の旅館等の宿泊券を送り、利用が114件ありました。

質問 集会施設環境

改善事業の実績は。

答弁 5町内会へ集会施設のトイレの水洗化や洋式化に補助しました。

質問 人里近くに来る熊が増えているようだが、被害の状況は。

答弁 昨年度は野菜等の被害がありました。が、人的被害はありませんでした。捕獲数は17頭でした。

質問 食と農の情報がよい。誰が実施しているか。

答弁 主に市職員が企画立案してSNSで発信しています。テレビ番組はテレビ局と連携して放映しています。

質問 冬の奥入瀬氷瀑ナイトツアーの参加者数は。

答弁 市のバスツアーの参加者1147人

以外に、奥入瀬溪流にある民間宿泊施設によるバスツアーの参加者が約4千人いました。



氷瀑は奥入瀬溪流の新たな魅力

質問 地域おこし協力隊員の月16万6千円の報酬は低いのでは。

答弁 国の基準に準じており、他市町村と比べても平均的です。

質問 道路の白線や停止線等が消えかかっている箇所があるが、対応は。

答弁 日常的な巡回等で状況確認し、市内一円の工事を発注しま

す。ただし、警察等との協議が必要なものがあります。

質問 学校への復帰に向け適応指導教室（若駒学習室）に通う不登校の子の数と、実際の不登校の子の数はかけ離れているのではないか。

答弁 ほとんどの不登校の子は断続的、一時的に登校できていますが、心理的要因等で登校できず、支援が必要な子が適応指導教室に通っています。



介護予防でいつまでも元気な生活を

特別会計

(介護保険事業)

質問 介護予防・生活支援サービス事業の利用が大幅に増加した要因は。

答弁 サービス対象者は要支援1・2と要支援相当の方です。年

度中に認定更新を迎えた要支援1・2の方がこのサービスに移行したため増加しました。

企業会計

(病院事業)

質問 在宅医療・介護連携推進事業の利用状況は。

答弁 患者56名に対して利用件数は139件でした。

質問 在宅医療の訪問看護をした医師数は。

答弁 総合内科の医師を中心に7名が対応しました。